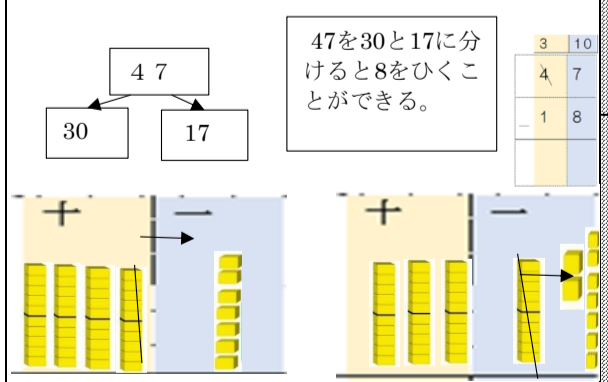


R2. 6月 算数授業研指導案(すみれ学級渡り計画) 早間美恵子

| 第1学年 算数「のこりはいくつ ちがいはいくつ」 | | 第2学年 算数「ひき算のしかたを考えよう」 | |
|---|---|-----------------------|--|
| <p>学級全体のめあての確認</p> <p>本児の目標 ○発問・反応 ●留意事項 ☆個別の支援 ◎評価(評価基準)【評価方法】</p> <p>1年:求残の場合について、減法の意味や、式の表し方を理解する。</p> <p>2年:2位数-2位数(繰り下がりあり)の筆算の仕方を、数の仕組みに着目して考え、説明することができる。</p> | | | |
| つかむ (5分) | <p>1. 問題把握をする</p> <p>○なにをしているところでしょうか。</p> <p>・筆箱から鉛筆を取り出す場面、チョウが飛んでいく場面であることを捉える。</p> <p>問題把握 えをみて、ブロックを動かしましょう。</p> <p>2. 課題をつかむ</p> <p>○お話を考えましょう。</p> <p>・筆箱に鉛筆が4本入っていて1本取っている。</p> <p>・チョウが4匹いて2匹飛んでいった。</p> <p>絵→言葉</p> <p>○2つの場面の話の似ているところはどこでしょう。</p> <p>・4つあります。4ひきます。</p> <p>・取ったり飛んで行ったりして数がへりました。</p> <p>・3本残った。2匹残りました。数が減ったけど残ったところが似ています。</p> <p>●残りの数に着目させ、どちらも数がへる場面であることをとらえやすくする。</p> <p>☆ノートに場面絵の話の数値と「へる」という言葉を書き込ませる。</p> <p>めあて</p> <p>えのおはなしをして かずのかわりかたをしらべよう。</p> | つかむ (5分) | <p>1. 問題把握をする</p> <p>○絵と問題からわかることをワークシートに書き込む。</p> <p>●問題を読んでわかっていることに直線、聞いていることに波線をひかせてワークシートに書き込む。</p> <p>・ひろくさんは47円持っていて、18円のチョコレートを買います。</p> <p>・残りはいくらかを求めます。</p> <p>・きいていることはのこりはいくらかです。</p> <p>・ひきざんになります。</p> <p>○どんなしきになるかな。(ワークシート)</p> <p>・47円-18円です。</p> <p>☆47-18の式に合わせて(持っていたおかね)-(チョコレートの代金)をなぞり書きさせる。</p> <p>○だいたい残りのお金はいくらぐらいになりますか。(ワークシート)</p> <p>☆47円のお金の絵から18円に×印をさせる。</p> <p>・7円から8円がひけないことをつかむ。</p> <p>・残りがおよそ30円になることをつかむ。</p> <p>2. 課題をつかむ</p> <p>○これまでの筆算とどこがちがうかお金の絵を使って考えさせる。</p> <p>問題把握 47-18の筆算が47-15の筆算とちがうところはどこですか。</p> <p>☆①47円のお金の絵から15円に×印をする。②18円に×印をする。その結果①はできるが②はできないことに気付かせる。</p> <p>・47-15はできるが47-18はできない。</p> <p>・10円から取ったらあと1円とることができる。</p> <p>☆47-8は 7-8ができないことを確認する。</p> <p>●ワークシートに7-8ができないことを書く。</p> <p>○10を使った繰り下がり計算の仕方を練習する。(計算練習5問)</p> |
| みつける (15分) | <p>3. 見通しを持つ</p> <p>○教科書の3つの絵は、それぞれのどんなお話かな?</p> <p>☆どの絵かわかるようにPCを使って大型TV画面の教科書の絵を一斉に見せて話をさせる。</p> <p>・金魚が水槽に5匹います。</p> <p>・あみで2ひきすくいます。</p> <p>・水槽に3匹残りました。</p> <p>●はじめの数、すくった数に着目させる。</p> <p>●水槽の金魚の数の変化に着目させ、「へる」場面であることを気付かせる。</p> | みつける (15分) | <p>3. 見通しを持つ</p> <p>○47-18の答えの求め方を考える。</p> <p>○既習を使う。</p> <p>・7-8はできない。だから17-8をする。</p> <p>☆お金の絵を×印で消して7-8はできないので10円を使うと考えたことを見せる。</p> <p>●7-8ができないから8-7にならないように注意する。</p> <p>・10を使って計算しました。</p> <p>○17-8はできますか。</p> <p>・10-8=2, 2+7=9とわけてできました。</p> <p>☆お金の絵を使って1円10こから8円使うと2円のお釣りで。と使ったお金の絵に×印させる。分からない時は10個のブロックから8個を取る。</p> <p>○47から17をつかうといいね。47から17をとるといくら?</p> <p>・のこりは30。47を17と30に分けて計算するとできます。</p> <p>☆お金の絵を使い、47から17を取ると30残る。</p> <p>●17-8ならできるとに着目させる。</p> <p>めあて</p> <p>一の位のひく数がひかれる数より大きい時の筆算の仕方をまとめよう。</p> |
| かんがえる (15分) | <p>4. 自力解決をする。</p> <p>○教科書の14ページの下絵に金魚の代わりにブロックを置いて、お話ししながらブロックを動かしてみましょう。</p> <p>・金魚が水槽に5匹いました。</p> <p>・女の子が2匹すくいました。</p> <p>・残りは3匹になりました。</p> <p>・3つの場面の話をしながら、一人で教科書の絵の上でブロックの操作活動を行う。</p> <p>☆ノートやワークシートを見せ、個別に支援する。</p> <p>○ワークシートに金魚の数の変化を数字で書いたら、ブロックを動かしながらお話しする。</p> <p>●カメラで発表する児童のブロックの動かしかたを撮影しTVに映す。</p> <p>絵→半具体物</p> | かんがえる (15分) | <p>4. 自力解決をする</p> <p>○47-18の計算の仕方を考える。</p> <p>●ブロックを使って考えて筆算の計算にまとめる。</p> <p>○数図ブロックを使って説明しましょう。</p> <p>●数図ブロックを使って説明させ、表現する活動に取り組ませる。</p> <p>・図と筆算を言葉で結びながら説明させる。</p> <p>◎(繰り下がりのある場合の減法の筆算の仕方を式や言葉などを用いて数の仕組み(十進位取り記数法)に着目して考え、説明している。【思考・判断・表現】【観察・ノート】</p> <p>47を30と17に分けると8をひくことができる。</p>  |

5. 集団解決をする。
●児童を前に出させ、操作を行わせながら発表させる。
☆発表を見せることで、他の児童にやり方を学ばせる。
●全員に発表させ、問題場面と手元の操作を結びつけ、右手でブロックを取り去る場面を表している発表をほめてよいところをまねさせる。
☆全体で発表をした後、PCの画面でまとめをし、全員で声を出す。
☆一人でもう一度話をしながらブロックを動かす作業をさせ、個別に支援する。
☆活動が苦手な児童ができるワークシートを用意しておく。
●「へる」ことを「-」で表し、その結果を「=」でつなぐことを知らせる。
○この場面を式であらわしましょう。
板書をみんなで読む。
6. まとめ

まとめ
へる ときの しきを ひきざんといひます。
「5から2をとると3になる」ことを
5ひく2は3 しき $5-2=3$ とかきます。

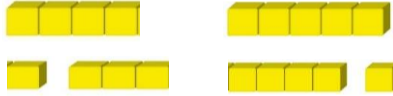
ノートに学んだことを書く。
・ノートに金魚の数の変化や式を書く。

5. まとめる。
◎ひっさんのしかたをまとめましょう。
●1の位が引けない時も十の位から1繰り下げればいまままでと同じように計算できることをまとめる。

- ① くらいをそろえて書く。
- ② 1の位から計算する。
- ③ 7-8はできないので
- ④ 十の位から1繰り下げる。17-8=9 10-8=2 2+7=9
- ⑤ 十の位は1繰り下げたので40→30
- ⑥ 十の位の計算は3-1=2(20)
- ⑦ 47-18の答えは29

まとめ
1の位のひく数がひかれる数より大きい時の筆算は、1の位の計算ができないので、十の位から1繰り下げてひくと計算できる。ひき算の筆算は位を分けて1の位から計算する。

さあやってみよう(5分)
7. 評価問題をする
適用問題に取り組む
○絵を見て式に書きましよう。
○ブロックを動かしてお話しましよう。
●ブロック操作と言葉、式を結びつけて説明させる。
しき $4-3=1$
しき $5-1=4$



◎(求残の場面を減法としてとらえ、ブロック操作や減法の式に表し説明している。)
【思考・判断・表現】【観察・ノート】
○4-1になる絵はどれですか。
・4匹の内2匹がどこかへ行った。4-2
・4枚の内1枚食べた。4-1
・3本から1本とった。3-1
・4枚あって1枚もらった。4+1
◎(求残の場合について、減法の意味を理解し、減法も式に表すことができる。)
【知識理解・技能】【観察・ノート】

さあやってみよう(5分)
6. 評価問題をする
●筆算では繰り下がりがあってもあるもので1の位から計算することを確認する。
・45-27を計算の手順を説明しながら解く。
☆PCを使って筆算の仕方を見せ、ノートに45-27の計算の仕方を書いてまとめる。
・52-35と63-19を筆算で計算する。
○今日の学習を生かして筆算の問題をしましよう。
☆筆算の手順を確認するために声を出しながら計算させる。
◎(筆算形式による2位数-2位数(繰り下がりあり)の減法計算の仕方ワークシートに書きながら、答えを求めることができる。)
【知識・技能】【観察・ノート】

ねんおし(5分)
8. ふり返りをする。
(書かせたい振り返りの例)
かすがへるときは、ひきざんだとわかった。とるときやでていくときがある。のこりはいくらかとときく。ともだちもじょうずにいえた。

ねんおし(5分)
7. ふり返りをする。
(書かせたい振り返りの例)
1の位のひき算ができない時、10の位から1繰り下げて10を使ってけいさんできることが、ブロックやお金を使ってわかった。位がちがうと大きさが違うことがわかった。

板書計画

問題把握 えをみて、ブロックを動かしましよう。

1ねん さんすう のこりはいくつ ちがいはいくつ

かすが へるとき

えのほなしの かのりのかりかたをらへて しきにあらしましよう。

きょうかしゃ 15ペえじ・16ペえじ

1ねん() <みく>

なにをえているところか? □にかすがのこりをはいておはなしましよう。

ねんのから ねん とると

ねん に なります。

ひきから ひき ひきざんととき

ひき に なります。

えをみて みるつゝき うごかしましよう。

① ひきざんが ② ひき ③ ひき

ひき いました。 ひき ました。 ひき になりました。

しき □-□=□ (ひく は □)

えをみて しきに かきましよう。

しき □-□=□

4-1の しきになる えは どれですか。 ○をしましよう。

しき

まとめ 5-2や4-3のようなへる ときの しきを ひきざんといひます。「5から2をとると3になる」ことをしき 5-2=3 5ひく2は3とかきます。

板書計画

2ねん さんすう ひき算の しきたを 考えよう

ひき算(2)くひ下がりの 計算の しきた

① えのたのきを考えよう
7-8はひくことが ないぞ 17-8なら ひくことが

② ひっさんの しきたを 考えよう。
「ひきざん」が 7、ひき 8、ひきざんより小さい 7-8はひくことが ないぞ、ひきざんより大きい 17-8なら ひくことが

ひさしは 47円もっています。 のこりは いくらですか。
47円 50円
38円 20円

① 問題をみて だいたい いくらかを (チョコレート)を(買った)。

(のこりのお金)はいくらか さいているから()算でもとめる。

② ひっさん...だいたい いくら のこり ?

式: $47-15=32$ 47円-15円=32円

③ 筆算

④ 47-15と47-18の筆算の しかたを 見つけよう。

47-15
- 15

32

47-18
- 18

29

① 十の位から計算

② 十の位から計算

③ 十の位から計算

④ 十の位から計算

まとめ 47-18の筆算は、1の位の7-8ができないので、十の位から1繰り下げて17-8とすればいい、ひき算の筆算は1の位から計算する。

評価問題

えをみて しきに かきましよう。

しき □-□=□

①

4-1の しきになる えは どれですか。 ○をしましよう。

しき

評価問題

① いちのくらい からけいさんする。

② くりさがりを かく。

③

| | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 5 | 2 | 6 | 3 | 8 | 6 | 7 | 2 | | | | |
| - | 3 | 5 | - | 1 | 9 | - | 4 | 8 | - | 2 | 6 |

④

| | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 5 | 8 | 2 | 4 | 1 | 9 | 6 | | | | |
| - | 6 | 9 | - | 4 | 4 | - | 2 | 3 | - | 5 | 7 |